りぷろ■にゅうす

2010. 6 月号 Vol. 22
編集・発行／リプロネットみやぎ

CONTENTS

● 2010年度通常総会開催報告
● 会員研修会(一般公開)開催
デートDV その傾向と対策を知ろう！

2010年度通常総会を開催しました

2010年6月3日（木）エル・パーク仙台・セミナーホールにて「2010年度通常総会」を開催いたしました。出席者の18名に22名の委任状を加え、会員総数の過半数を超えましたので、総会は成立いたしました。主な決議事項は以下のとおりです。

■新たな事業活動を予定しています

○昨年度に引き続き、「若者のための市民活動体験」への協力参加と「男女共同参画推進せんだいフォーラム」への参加を予定しています。

○「みやぎの男性 からだと性のホンネ！ 100名に聞きました」のアンケート調査報告会を開催いたします。

■2010年度役員ならびに会計監査

長い間、役員・会計を務め、リプロネットみやぎを支えてこられた大先輩2名が、一般会員となり、新たに2名のフレッシュな役員が仲間入りいたしました。

代　表	村口　喜代
副代表	金井　恭子・北村　志津枝
運営委員	小田　泰子・八幡　悦子・郡　和子・佐藤　理絵・長沢　由紀子 福島　かずえ・高橋　安子・赤井　由紀子・小野　真理子 松本　真理子
会　計	浅野悦子・菊地夏江
会計監査	福田すみ子・遠藤恵子
事務局	村上由美子・柴田　泰子・星野聖子
顧　問	長池　博子

リプロダクティブ・ヘルス／ライツに関連した活動は、どうしても女性が中心になりがちですが、今後は、時代の変化とニーズを受け、男性にも興味を持って参加してもらえるような企画を考えていきたいと思っています。男性版アンケートは、その第一歩として、「まずは男性のホンネを知ろう！」というところから始まりました。現在、集計分析作業を進めております。興味深い結果をご報告させていただきますので、皆様、ぜひお誘い合わせの上、ご参加ください。日程など詳細が決まりましたら改めてご連絡いたします。

リプロネットみやぎ会員研修会（一般公開）報告

2010年度通常総会終了後、会員研修会（一般公開）を開催いたしました。今年は、ハーティ仙台の代表であり、リプロネットみやぎの役員でもある、八幡悦子（やはたえつこ）さんを講師にお迎えしました。「デートDV　・・・その傾向と対策を知ろう！」をテーマに、恋人間の暴力の実態やその対策と予防教育のポイントを分かりやすくお話いただきました。以下にその内容をご紹介いたしします。

デートDV　・・・その傾向と対策を知ろう！

ハーティ仙台代表　　やはたえつこ　さん

支援と予防教育には、 性の基本理解・性暴力の理解、被虐待児（暴力の中で育った子）の理解が重要です。DV（ドメスティック・バイオレンス）は、夫・恋人からの暴力です。その中でも主に若い人々間のDVを、デートDVと言います。DVは配偶者・配偶者でなくても同居している関係の中で起こり、DV防止法の対象です。デートDVは、配偶者でない・同居もしていない関係の中で起こり、付きまといには、ストーカー規制法を使います。本日、両者の違いに配慮して作成した「チェック表」をお配りしました。妊娠・婚姻によって、デートDVはDV関係になり絆が強くなり暴力は激化します。ですから避妊の教育は重要です。

暴力はサイクルを持って繰り返します。爆発期、ハネムーン期、緊張期の繰り返しです。遺伝・病気・アルコール・ドラッグ・ストレス・怒りはDVの原因ではありません。虐待（DV）の中のこどもは、手当てがないと、性行動を急ぎ妊娠を急ぎます。より性の教育が必要です。放置されると、暴力の世代間連鎖が起きます。早い性行動→妊娠→駆け込み婚・逃げ込み婚→経済破綻→DV→児童虐待→離脱→継父・内縁の男→児童虐待→早い性行動→延々と続くのです。こどもたちが義務教育の中で非暴力的性関係を学ぶこと、また、もし児童虐待が疑われる場合には、早期発見と介入がなされることが大事です。DVのサイクルを回す原動力は、性差別であり、個人的な事ではなく広い社会構造上の問題です。経済的・社会的有利と不利、固定的性役割の押しつけ等が挙げられます。暴力からの離脱には、外からの情報が大事です。情報は根気よく、工夫して渡す事が重要です。DV被害者が加害者のもとに戻る事はよくある事と考え、諦めない事です。支援は、支配・コントロールではないからです。

参加者の方には「恋人との距離・プライバシー実力テスト」と「性暴力の認識度チェック」を行っていただき、自分

の感性の振り返りを体験していただきました。また、性教育の大事な点を説明しました。性器や性交がいやらしいのではなく、性暴力がいやしく、いやらしい事だという点です。子ども達にも絵や絵本で説明可能です。性交の目的（子ども，快感、愛）、性のトラブル（望まない妊娠、性感染症、性暴力）、学ぶべき事（避妊、感染予防、加害行為しない、未然に防ぐ、被害にあったらどうするか）の教育が大事です。デートDVが妊娠によってDVとなると、子どもへの影響（児童虐待）へと連鎖します。

予防教育と早期支援には、仙台市の性暴力防止パンフレット、デートDV（新作）・DVパンフレットがあります。ハーティ仙台は、その作成にNPOとして協働してまいりました。ぜひ、これらを活用して説明のコツをつかんでいただければと思います。ハーティ仙台の紙芝居「性暴力はイヤ」「LOVE？物語」もあります。指導のポイント、ロールプレイの手法などが広く浸透していくことを願っています。乳幼児期からの、性暴力の予防教育が重要なのです。

配偶者間の殺人事件で、女性が被害者の事件は3日に1件起きております。デートDVの殺人事件の統計はないのですが、頻繁に事件が起きています。別れる時が一番危険ですので、一人暮らしの安全教育（家に入り方・ドアの開け方・合鍵の問題対策）等の教育も重要です。アニー出版の安全教育の紙芝居や「都会で一人暮らしをする女性が部屋の中で犯罪に遭わないために」という教育ビデオ（国際マーケティング映像・学校教育部）も紹介しました。 また、デートDVからDVに至った体験者の手記も紹介しました。手記の作者は「一人でも多くの女性が私のような目に遭わないことを願っています」と、書いてくれました。本日、デートDVのチェック表もお渡ししておりますので、両面コピーして支援にお使い下さい。これによって気がつき離脱した例が沢山あります。

共著「大人になる前のジェンダー論」（はるか書房）に、性のトラブルにどう対処するか（デート DV・ DV から逃れる方法・性暴力とどう戦うか）等を、書き込みましたので、図書館で手に取って頂ければ幸いです。

終了後のアンケート結果と感想報告

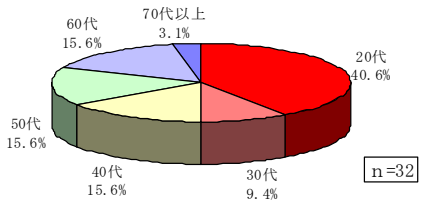

図1. 年齢

参加人数は46名（男性1名、女性45名）で、うち32名の方がアンケートに協力してくださいましたので、その結果の一部をご紹介いたします（回収率：69.6%）。

これまでの研修会よりも、20代の学生さんの参加が多く（図 1.・図 2）、デートDVに対する若い世代の関心の高さが伺えます。また感想では、「大変良かった」が96.8%、「まぁまぁ良かった」が 3.2%と、大変好評でした（図 3）。

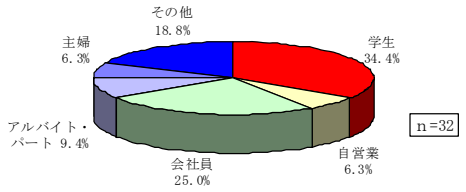

図2. 社会的立場

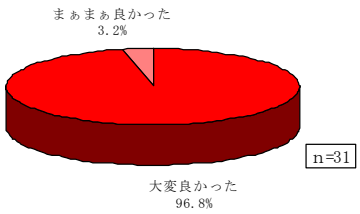

図3. 感想

■ 講演に関する感想

- 私は将来性教育に携わりたいと考えていて、今回の研修会を通してますますその思いが強くなりました。
（20 代　未婚）
- 実例を交えた開設が分かり易かった。デートDVと性教育の必要性が密接につながっていると改めて気づいた。
（20 代　未婚）
- 内容・ボリュームともに膨大でした。でも、八幡さんが具体例をあげて分かりやすくお話してくださったので、集中力が切れることなく最後まで聞くことができました。ありがとうございます。（30 代　既婚）
- とてもよかったです。勉強になりました。娘に聞かせたかったです。もう一度開催して欲しいと思います。
（50 代　既婚）

■今後のリプロネットみやぎに期待すること

- 中高大生等の学生に広めてほしいです。そして被害者に罪がないことを広く広く広く、伝えてあげて欲しいです。
（20 代　未婚）
- またこのような会を開いてください。（50 代　離婚）
- 自分を大切にすること、自分の存在を自分でみとめられることはとても大事なことだと思います。八幡さんのお話をきくたびに強く感じてきました。自己の存在を肯定することで他者との関係性をしっかり強く作ることができると思います。リプロネットみやぎの活動は今の世の中にとても必要なものだと思います。
（60 代　既婚）
- 今日のように、若い世代への性教育の取組みを紹介して欲しい。（20 代　未婚）

【編集後記】

紫陽花の美しい季節、みなさまいかがお過ごしでしょうか？
「りぷろにゅうす」は、今号で vol.22 となりました。これからも、活動報告などを中心に、定期的にお届けしたいと思っております。ご感想・ご意見などございましたら、ぜひ事務局までお寄せください。今後の参考にさせていただきます。　今後ともリプロネットみやぎをよろしくお願いいたします。

リプロネットみやぎ事務局
FAX:022-292-0166
e-mail:repro@muraguchikiyo-wcklinic.or.jp